

第7回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和元年8月2日(金)
開会14時00分 閉会15時22分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|------------|
| 教育長 | 鍵本 芳明 |
| 委員(教育長職務代理者) | 田野 美佐 |
| 委員(教育長職務代理者) | 松田 欣也 |
| 委員 | 中島 義雄 |
| 委員 | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 上地 玲子 |
| 教育次長 | 村木 智幸 |
| 教育次長 | 高見 英樹 |
| 教育政策課 | 課長 中本 正行 |
| | 副課長 細川 誠 |
| | 総括主幹 間野 良一 |
| 教職員課 | 課長 平田 善久 |
| 高校教育課 | 課長 藤岡 隆幸 |
| 義務教育課 | 課長 川上 慎治 |
| 特別支援教育課 | 課長 中村 誉 |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 附議事項
- (1) 令和元年度末校長・教員等人事異動要綱について
 - (2) 令和2年度使用教科用図書採択について
- 6 報告事項
- (1) 「平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果」の概要について

7 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、附議事項（２）は、教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生じるおそれがあることから、教育委員会会議規則第12条に基づき、非公開とするよう発議する。なお、開かれた教科書採択の一層の推進のため、審議内容の概要については、採択結果と併せて、後日、ホームページで公表する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。

附議事項（２）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

附議事項（１）令和元年度末校長・教員等人事異動要綱について

・教職員課長から資料により一括説明

(教育長)

これより採決に入る。議第8号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙手

(教育長)

全会一致により、議第8号は原案のとおり決した。

報告事項（１）「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果」の概要について

・義務教育課長から資料により一括説明

(委員)

岡山県の全国順位が上がったということは大変喜ばしいが、中学生になると勉強時間が減少していることが課題である。具体的にどういった対策を行っているのか。

(義務教育課長)

生徒の勉強方法への悩み・苦しみが調査結果に表われていると思っている。現在、各学校において補充学習を進めているが、授業改善も含めて、全ての子どもたちが、

「やればできる」という感覚を持てるようになるまで、引き続き取り組んでまいりたい。

(委員)

市町村別の結果にはばらつきがあるが、大きく成績を伸ばした市町村はあるのか。また、その理由をどう分析しているのか。

(義務教育課長)

大きく成績を伸ばした市町村はあった。当該市町村は、早期に授業改革推進員及び推進チームを取り入れており、その推進リーダーが積極的に推進チームの活動を牽引することで、経験が短い教員等に良い影響を与え、校内研修や自主研修の充実につながっている。こうした体制づくりを確立したことが、良い結果につながったと考えている。

(委員)

各市町村教委は、所管する学校の調査結果をきちんと把握・分析しているのか。学校ごとに様々な取組をしており、分析することでその成果も見えてくると思うが。

(義務教育課長)

市町村教委においても、県教委と同様に調査結果を受け取っており、把握している。分析も同様に行っているが、その内容については、今後、各市町村教委が行う説明会へ必ず県教委から職員を派遣し確認したいと考えている。そのなかで、十分な分析ができていない市町村があれば、必要に応じて助言・指導を継続的に行ってまいりたい。また、成果を上げた学校の良い取組については、その学校だけではなく、横の展開をしっかりと行ってもらうよう、各市町村の担当課長へ伝えてまいりたい。

(委員)

学校ごとに考えると、校長間でのやりとりになるが、その学校・地域の各教科ごとのつながりが重要ではないか。例えば、同じ学校でもクラス間で国語の結果に差が生じれば、各教員の指導方法に違いがある場合も考えられるのでは。

(義務教育課長)

学校規模によって、同じ教科の教員配置が単独・複数の違いもあるため、各地域の教科部会の中での連携や活動は大切であり、今後、取り組んでまいりたい。

(委員)

各学校において、学習指導・生徒指導等、様々な取組を行っていると思うが、成果を上げている学校と、そうでない学校の違いはどこにあるのか。取組の内容で違いが生じるのであれば、どういった取組が良いのか検証することも必要ではないか。

(義務教育課長)

学校訪問を行い学校の様子も確認しているが、成果を上げた学校が他の学校と比べて突出した取組をしている訳ではない。その取組等を徹底して行えているかが、大切だと考えている。

(教育長)

学校訪問等を行っての感想だが、補充学習や小テストを利用した取組等が注目されるが、学力向上を目指す上で、1番大切なのは、通常授業をどれだけできているかだと思っている。県教委では、「岡山型学習指導のスタンダード」を作成し、「授業5（ファイブ）」による授業づくりを進めているが、そういった基本を学校全体で徹底している学校は、学校規模に関わらず、成果が上がっている傾向にある。も

ちろん様々な取組の効果もあるが、まずは基本が大切だと考えている。

(委員)

学力を身につけるため、自主学習も大切だと思うが、どうやって勉強したらよいか分からないといった声を聞いた。勉強方法が分からず、逆にストレスを感じている子どももいる。また、児童生徒によって進捗状況や課題が異なるので、一律のプリントを配ることで、混乱を招くことにつながる可能性もある。子どもたちのためになる自主学習にして欲しい。

(義務教育課長)

自主学習については、学校において様々な改善が図られている。ノートの様式を小学校と中学校で同様にしている学校も増えており、記入方法も普通の授業とリンクできるよう、その日の「めあて」から記入させる等、児童生徒が迷いなく学習できるように指導を変えた学校もある。また、進捗状況が異なる児童生徒のために、進捗状況に応じたプリントを準備し、児童生徒が選んで持ち帰れるスタイルも増えている。

(委員全員)

了 承

附議事項（２）令和２年度使用教科用図書採択について

- ・ 高校教育課長・義務教育課長・特別支援教育課長から資料により一括説明

(教育長)

これより採決に入る。議第９号について、原案に賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、議第９号は原案のとおり決した。

閉会